

## 2. 水はどこを通ってくるの？ ① 一家の近くまで水を配る配水管

### (1) 配水管は道の下

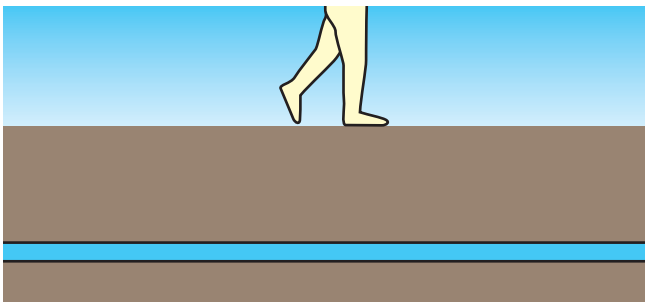
家のすぐ近くまで水道水を配るパイプを「配水管」といいます。配水管は、ほとんど道路の下を通っています。

理由は、家が建っているところだと地面の下の工事をするのが難しいこと、新しく街をつくる時、道路工事と合わせて計画し作業を進めることができること、などが考えられます。ほかにも、いいことがないか考えてみましょう。

今日歩いた道の下にも、水道が通っているかも知れません。



この道の下にも配水管（水道管）が通っているかも。



人が通る道の下にある、水が通る「道」。

川で行われた大きな工事

川につながる  
ふだんの暮らし

川につながる農業

川につながる漁業や工業

### (2) 深くうめられる配水管

配水管は、写真のようにかなり深いところにうめられています。水をこうした深いところに通しているのは、冬の寒さでこおりつかないようにするためです。

**注意!!**…工事現場には、さまざまな危険がある上に、作業のじゃまをすれば、仕事をしている人たちも危険になります。絶対、勝手に近づかないこと。見学などをしたい時には、先生を通じて、各市町村の水道の係に相談しましょう。



配水管などの水道管は、深く穴をほってうめられる。この管は「ダクタイル鋳鉄（→p31）」できている。

管をつなぐ。これは、はめこむタイプ。水道の管にはいろいろな大きさ、つなぎ方がある。

管の内側に塗装してあり、さびるのを防ぐ。

付録

※1 配水管(はいすいかん)：上水(上水道水)を供給する管のこと。ちなみに送水管(そうすいかん)は、水道施設の場合、浄水場(※2)から配水池(※3)まで水を送る管。また配水管から分かれ各家庭に至る水道管は給水管(きゅうすいかん)という。

※2 浄水場(じょうすいじょう)：水を浄化して水道水にする施設のこと。

※3 配水池(はいすいち)：水の使用量は時間によって変わるので、それに対応できるように水道水をためておく池。